

令和7年11月19日(水) 15:45～
於 会議室、応接室

各部会 15:50～16:15

○しっかり学び ゆっくり探る部会【会議室】

・生成AIを活用した4年次「総合的な探究の時間」の授業の経過報告及び今後の展望。昨年から生成AI（NotebookLM）を利用している。3月の会議で報告予定。なお、来年度からは、代表者によるグリーンホールでの成果発表会ではなく、ポスターセッションにする予定。

・次期学習指導要領の論点整理で、情報と探究を密接に連動させる。研究会を立ち上げ、神奈川総合産業高校に専門家がいるのでアドバイスを貰いながらやっている。自分たちの問の精度を上げるため、NotebookLMを活用している。議事録も自動で作ることができる。

<質疑応答>

Q 「問いのゴールは何か」を教師が見通せているか。良い問いの例を生徒に示しているか。

A 全校生徒がホールでの発表を聞いているのでそれを参考にすることができる。ゴールとは、探究のプロセスをきっちり踏み、自分たちが学び続けられること。

Q 最終形態だけではなく、探究の途中経過も全員に見せているのか。4、5年次の2年間にわたる探究のイメージを生徒が持っているのか疑問である。

A 中間発表は4年次にも見てもらっている。最初のガイダンスで2年間の道筋は示している。

Q 「より良い問い」とはどういう問いと捉えているのか。

A 生徒が自走できる問いである。

Q 中学生と高校生ではギャップがあると思うが、3年生と4年次との差はどうか。

A 次地球の科目で、理科の教員が探究のプロセスを示し、同じようなことをやっている。そこで探究のベースができていると考える。

Q 3年生の次地球から5年次の探究までの学びを全てつなげた資料を作成し、見える化していくべきであり、生徒だけでなく保護者にも示す必要があるのではないか。教員が異動しても同じ探究がずっと継続されるべきで、そのための資料を残し共有していくべきである。3月の協議会では、前期課程生から5年次の探究の発表までの内容、プロセスをつなげた資料を是非示してもらいたい。また、グループの人数はどのくらいか。子どものモチベーションはどうか。「好き・得意」を伸ばす方針か。

A 3人。全員が同じ熱量で取り組むのは難しいが真剣に議論をしている。探究したい分野を生徒が共有し、それに基づいてグループを組んでいる。

Q 総合型選抜で利用できるようにしているか。

A 本校ではそれを推奨していない。大学入試は一般入試でいってほしい。

○じっくり育て部会【応接室】

・中高生のメディアリテラシー教育について

安全教育に力を入れているが、その中でも教科に位置づけられていないメディアリテラシーをどうするかを考えている。学習指導要領にももうすぐ記載されるが、それまでは地道な教育が必要。神奈川県警の講習をまとめたものを新入生の保護者に配付している。ネットという大人の目が届かないところで育っているということを保護者にも理解してほしいので、配付物等で保護者の目に触れるようにしている。

先輩から後輩へ語る、サイバー防犯ボランティアを通して、先輩からのアドバイスを聞く機会を設けている。アンケート結果からは、良い取り組みと感じている。プライベートな写真をSNSにあげてしまうなど、知識と行動が対応していないところがある。前期生と後期生では必要な対応が異なる。セルフコントロールはどちらにも必要だ。

デートDV防止、ジェンダーについて等、専門家の話を生徒に聞かせる機会も前期生対象に設けている。毎年継続したい。

・生徒会特別委員会における制服検討委員会より

新ニットアイテム導入、スカート裾について検討している。スカートの透け防止にも対応したく、試作品を待っているところ。12月中には届く予定。スカート刺繍、ニットアイテムについては検討の結果採用になれば19期から導入予定。

・平塚中等教育学校との交流について

交流は生徒会役員の公約だったため、まずは生徒会同士で交流する機会を設けた。Meetでまずは交流した。

委員より

- ・実際の生徒がどのような学校生活を送っているか見たかった。美術室の掃除がとてもよく行われていた。監督の先生の対応も良かった。男子トイレもきれいだった。
- ・間接的に生徒を育てる、という点を意識してほしい。学校が整理整頓されていればじわじわ生徒に伝わっていく。廊下のポスターも真っ直ぐ貼られていて良い。遊ばせていい部分と、締めるところを明確にすることが大切。
- ・生徒が情報機器を上手に使い、また被害者にならないようにメディアリテラシーについてしっかり教育してほしい。レポートをAIで作らないようにさせるなど、大学が必死になっている現実がある。研究には倫理が伴い、インタビューしてもその内容の掲載にあたっては、許可なく載せてしまうことは認められないこと、また授業の様子の撮影画像などで個人が特定されないようにすることの重要性も指導してほしい。
- ・トランスジェンダーの話は、重荷になってしまうこともあるので事前に調整の必要がある。
- ・10年経っているので、制服も変わっていいと思う。気候も変わってきている。生徒の要望に耳を傾けていい部分もある。スカートの透けについては、保護者の意見も聞いてほしい。
- ・中等教育学校同士の交流、先生同士も是非行ってほしい。以前は東京の小石川中等教育学校とも交流していた。
- ・ペアレンタルコントロールと言っても伝わるのに時間がかかる。Classroomをスマホで見るとパソコンで見ると違って違う。伝達事項もたくさんある。スマホでまたLINEかと思うと、勉強していたりする。子どもに「スマホばかり見てないで」と簡単に言えなくなっている。この年齢ならわかっているだろう、と思いながら話している。一度は

ChatGPTで添削しても、「見てほしい」と頼まれたので見てあげたこともあった。大学側も、学生がレポートをAIで書いているのではないかと疑う場面もあるようだ。

- ・制服について、夏に導入したポロシャツの新色、サックスとネイビーはとても良い。アイロンがけしなくて楽であり、私立っぽく見える。新しい風で良い。スカートの透けは気にしている生徒もいるので解消されると良い。ポロシャツの紺とネイビーは透け防止にも良い。
- ・平塚中等とはPTAも交流している。交流広げればよい。平塚中等は壁が白で、またガラス張りのところもあり、明るい印象だった。お互いいい刺激になれば良い。

学校評価部会 16:20～16:45

- ・学校長より

教育課程、学校評価報告書、授業改善研修・研究授業についてご意見いただきたい。

- ・令和7年度学校評価中間報告について

【研究開発Gより】

昨年まではSSSループリックについて生徒・職員ともに理解していなかったので再検討した。目指す生徒像とSSS振り返りシートの一体化を図っている。生徒の姿について、教員が同じ方向を見ていく。学年としてどう見るか、教科としてどう見るかも課題だ。

【生徒支援Gより】

- ・メディアリテラシー教育については、ボランティアを募集すると毎回6、7名の生徒が手を挙げてくれる。先輩から教えてもらえるのがよい。メディアリテラシーについてはまず保護者の方に理解していただく必要がある。神奈川県警が提示したものを利用している。昔は校庭で育っていたのが、今は子どもがネットの中で育っているという現実がある。「知識として蓄えられるか」と「実際の運用ができるか」の間にギャップがある。
- ・12月に前期生対象に外部講師によるメディアリテラシー講演会を行う。初めての試みだ。ジェンダーについての繊細な話題だが、当事者だけでなく、前期生全ての生徒対象で依頼した。

【生徒会G】

- ・制服検討委員会の活動、今後の販売の流れについて説明。リボンは一回り大きいものに変更し、今年度1月から在庫を入れ替えていく。12月上旬にアンケートを取る予定。今後の検討アイテムについては、「変えない」という選択肢もある。
- ・平塚中等との交流で、昨年度は文化祭で訪問した。今年度はオンラインで交流した。勤務時間を超えないことを意識しながら行った。学校のルール、スマホの使い方が異なり新鮮だった。今後も年2回行いたい。生徒会予算折衝について情報交換したい。

【総務G】

- ・避難訓練について、昨年は雨天バージョンだったが今年度は無事実施できた。9割以上の生徒が防災意識が向上したと回答した。3年生は防災に関するDVDを視聴し、様々な気づきがあったようだ。反面、避難時におしゃべりが多かったという意見もあった。

【企画G】

- ・学校案内最後のページは、生徒が考え作成した。

【教頭より】

- ・時間外在校時間について、年度当初と比較して教員の労働時間は減少傾向にあるようだ。

＜質疑応答・ご意見＞

Q メディアリテラシーについての資料について、毎年説明しているのか。

A 作成初年度は全校生徒に配付したが、現在は入学前説明会のみで配付している。県からも多くの啓発資料が来るのでその都度配付している。生徒がどのようにスマホを利用しているか等、保護者は実態を把握できていないのが現状ではないかと思われる。

Q 部活動の時間について、相模原市内では5時に終わらせる動きがある。県ではそのような動きはないのか。横浜市の併設型の中高一貫の部活の時間はどうなっているのか。

A 中学生がいるとはいえ県立の学校なので、基本的に考え方は高校と同じである。市内の現状などは県に伝えてはいる。顧問負担軽減のため、本校には県から部活指導員を2名配置していただいている。

- ・防災訓練について、南区役所と連携すると良い。また、中等は全県学区なので、地域住民の方や自治会の方々とも連携する機会があると良いのではないかな。
- ・メディアリテラシーについての資料は大変良くできており是非参考にさせていただきたい。毎年保護者に渡した方が良いのではないかな。
- ・メディアリテラシーの講演は、ぜひ保護者と生徒が隣の席で一緒に聞きたい。資料のみだと読まない保護者が多いと思う。
- ・小学校では行われているが、校内に不審者が入ってきた際の対応についての訓練が必要かと思う。

連絡

- ・第3回学校運営協議会

令和8年3月16日(月) 卒業式後